

～ISO14764による～
**ソフトウェア
保守開発**

ソフトウェア・メンテナンス研究会編
堀井和也／弘中茂樹／岡嶋辰男／松永真 著

ソフト・リサーチ・センター

ガイド編：1章
ソフトウェアの現状と課題

担当者：柏

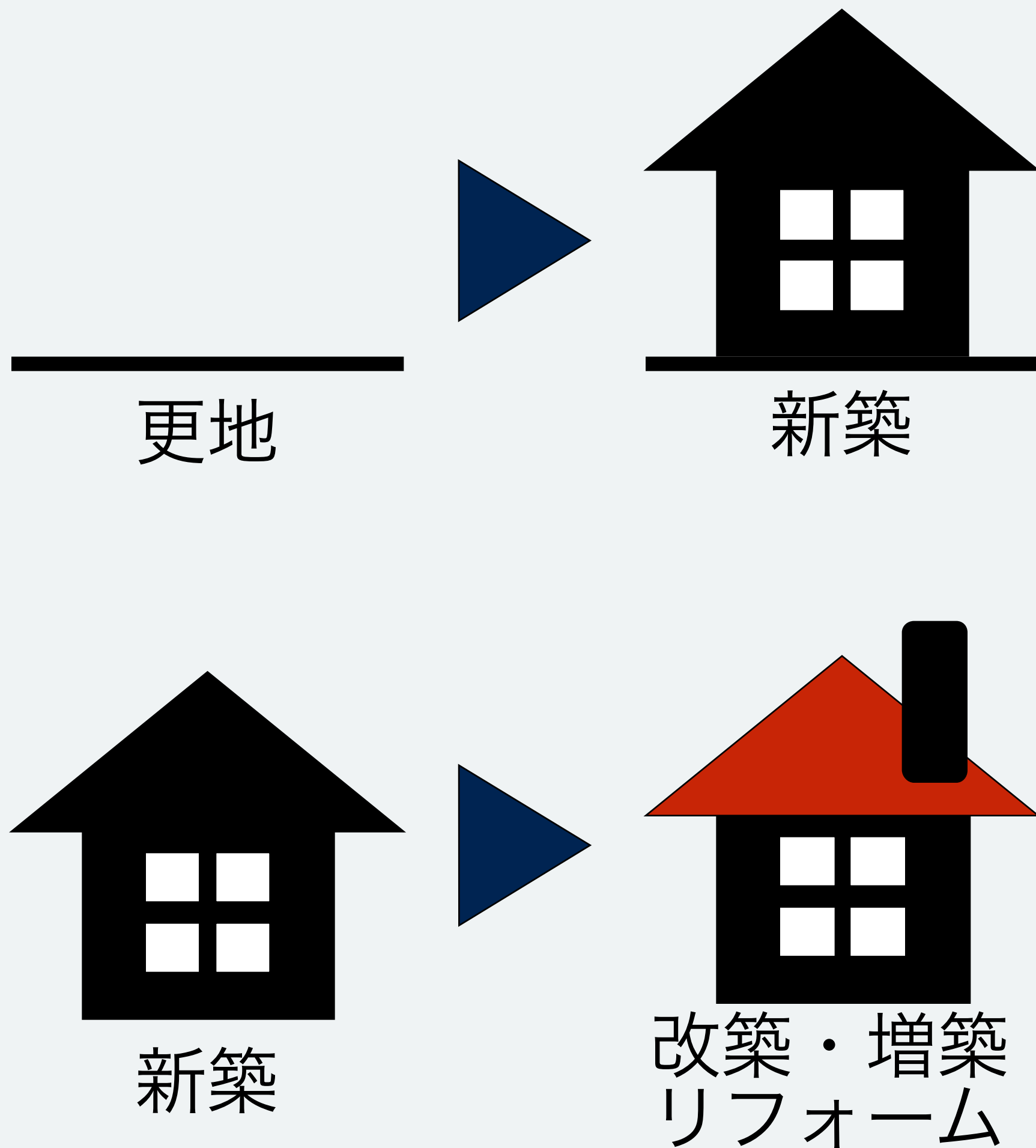
本書の目的

- 保守作業そのものにスポットを当てる事
 - 従来ソフトウェアの技術テーマとして取り上げられる事が少なかった
- 保守の課題解決やプロセス改善を進めるアプローチを第一歩から示す

ソフトウェア開発の範囲

3

■ 建築業



■ ソフトウェア産業



設計・開発



保守？

保守が表にでない理由



開発

保守

イメージの差

ソフトウェア保守の実情

■ 直す技術 < 作る技術

研究面

- ・研究者が少ない
- ・新開発技術で対応可能という考えがある

教育面

- ・テキストがない
- ・教育カリキュラムがない

事業面

- ・保守作業のあるべき姿が見えない
- ・評価制度がない
- ・保守部門が独立していない

政策面

- ・資格試験がない

■ コスト

- 保守専任開発者が28万人必要
- ライフサイクル全体のうちの2/3や90%が保守にかかるとも
- 障害件数は多数にのぼる



ソフトウェア産業は
まだまだ若い産業

ソフトウェア保守の今後

■ 技術の進歩

ソフトウェアの高品質化

ソフトウェアの生産性向上

ソフトウェア適用可能範囲の拡大

ソフトウェアの保守性向上

■ ソフトウェア保守

保守期間の長期化

保守作業量の増加

保守件数の増加

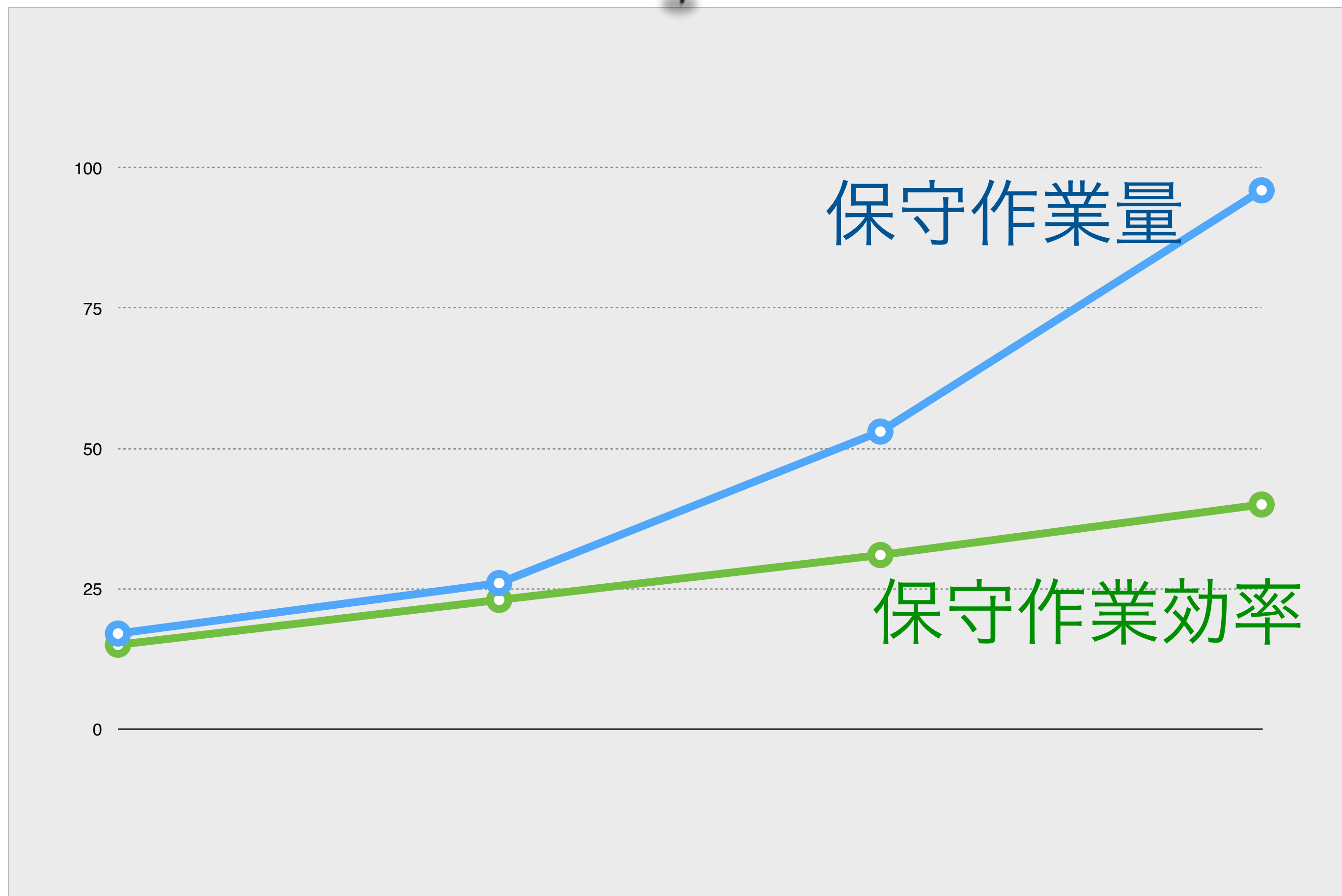
保守作業の効率化

ソフトウェア保守の今後

7

■ 技術の進歩

■ ソフトウェア保守

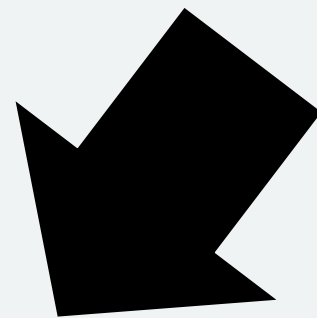


ソフトウェア保守のありべき姿

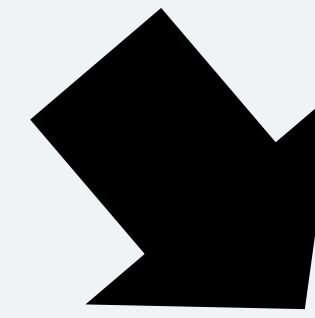
外部要因

法律・制度の改正 利用者の拡大
動作環境の変化 新機能の追加
ユーザーニーズの変化

従来の保守



プログラムの
追加・修正で対応



将来の保守

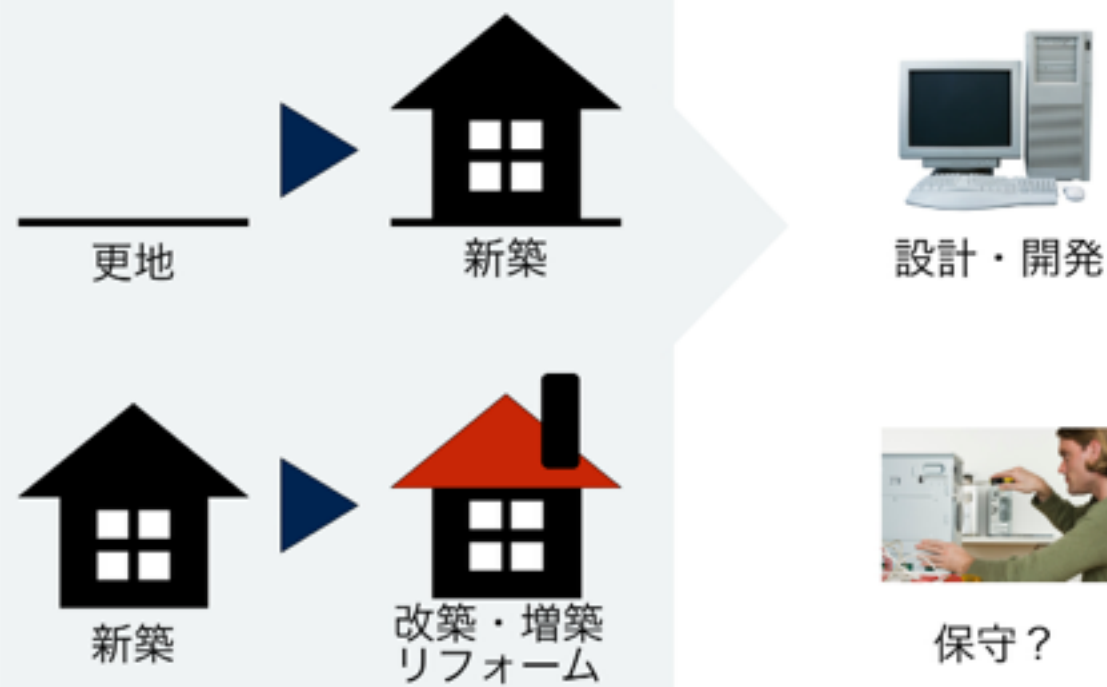
- パラメータの変更
- マスタデータの変更
- プログラムの追加

ソフトウェア開発の範囲

3

■ 建築業

■ ソフトウェア産業



ソフトウェア保守の実情

5

■ 直す技術 < 作る技術

研究面	教育面	事業面	政策面
- 研究者が少ない - 新開発技術で対応可能という考えがある	- テキストがない - 教育カリキュラムがない	- 保守作業のあるべき姿が見えない - 評価制度がない - 保守部門が独立していない	資格試験がない

■ コスト

- 保守専任開発者が28万人必要
- ライフサイクル全体のうちの2/3や90%が保守にかかるとも
- 障害件数も多数



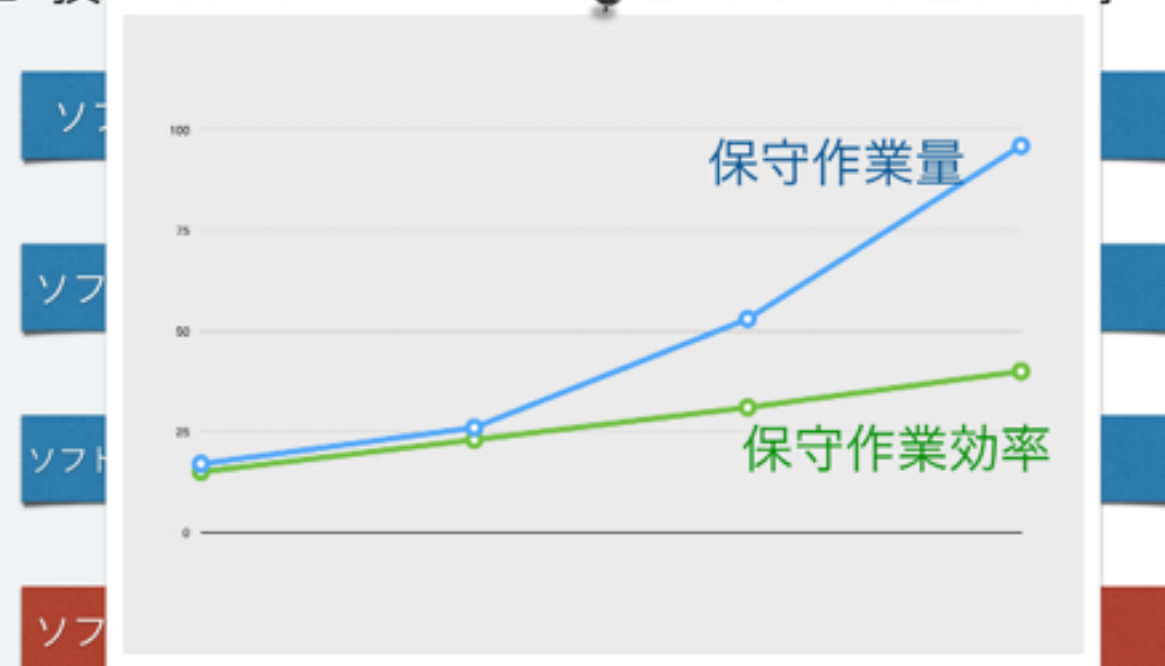
ソフトウェア産業は
まだまだ若い産業

ソフトウェア保守の今後

7

■ 技術の進歩

■ ソフトウェア保守



ソフトウェア保守のあるべき姿

8

外部要因

- 法律・制度の改正
- 利用者の拡大
- 動作環境の変化
- 新機能の追加
- ユーザーニーズの変化

従来の保守

将来の保守

プログラムの
追加・修正で対応

- ・パラメータの変更
- ・マスターデータの変更
- ・プログラムの追加